

「自発的な活動としての遊び」を促す 保育者の援助

参考: 幼稚園教育要領解説(文部科学省 平成30年3月)
保育所保育指針解説(厚生労働省 平成30年3月)
幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説
(内閣府・文部科学省・厚生労働省 平成30年3月)

宮城県幼児教育センター
(宮城県教育庁義務教育課)

幼児の環境との関わり方

◎幼児は、遊びを通して周りの環境の一つ一つに関わる。



おもしろく
遊びたい！

幼児の環境との関わり方



あらゆるものが
好奇心の対象

★ 自由な
空間、もの

保育者の役割

- ・教材を工夫し，人やもの，場所などの環境を構成する役割
- ・その環境の下で幼児と適切な関わりをする役割

保育者の役割

大切なことは…

幼児が遊びに没頭し充実感を味わうこと

そのために

幼児のものとの関わり方を予想して

- ・「どのようなもの」を「どれぐらい」準備するか
- ・「ふさわしい場所」を「どこに」「どのように」設定するか

保育者の役割

◎「幼児の遊びが深まっていけない」などの課題に対する
保育者の援助

「いつ」「どのような」援助を行うかは、状況に応じて判断することが大切。

例えば…

保育者がすぐに援助することで、幼児が自ら工夫してやろうとしたり、友達と助け合ったりする機会がなくなることもある。

保育者の役割

◎一人一人の発達に応じた援助のタイミングや援助の仕方を考えること→幼児の自立心を養い、生きる力を育てることになる。

状況に応じて柔軟に対応するために…

- ・幼児と生活を共にしながら、幼児との対話を通して、一人一人の良さや発達の課題などを把握
- ・目の前で起こっている出来事が、幼児にとってどのような意味をもつかを理解

幼稚園等の様々な教育支援等の取組事例 (文部科学省ホームページより)

新型コロナウイルス感染症対策にも配慮しながら、幼児にとって必要な体験を確保するために…



幼稚園等再開後の取組事例集

令和2年9月7日時点

文部科学省
初等中等教育

※遊びの拠点を分散などでは、こんな工夫の事例もありました！

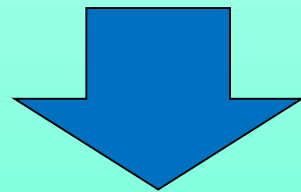
- ・熱中症対策や幼児が遊びやすい工夫をして、園庭を有効活用（空缶や空瓶の活用（水筒遊びや空缶遊び）、カーンカーンのおうちや遊具を作成など）
- ・遊びのコーナーを増やしたり、スペースを広く有効活用できる工夫をして、園舎内でも遊べる（会議室を保育室に転用、廊下や玄関などの活用、保育室の仕切り撤去や移動可能なコンを使った環境の変更）
- ・遊びの拠点を分散や運動不足解消のため、体を動かして遊ぶ用具の増

「幼稚園等再開後の取組事例集
令和2年9月7日時点」

https://www.mext.go.jp/content/20200904-mxt_youji-000005336_01.pdf

まとめ

- 幼児は**自分で**必要な環境を**選んで**その環境に関わり、発達に必要ないろいろな経験を**得ていく力**をもっている。
- **幼児一人一人**によって環境との関わり方が**異なっており**、興味や関心、発想の仕方、考え方なども**異なる**。



- **それぞれの幼児にとって必要な環境は一律ではない。**

まとめ

◎保育者が環境構成をするときに考えたいこと

- 保育者が意図するものでありながらもさりげなく、幼児が誘われるようにその場を選ぶような環境づくりを
- 幼児の自由な遊びの時間を大切に
- 幼児が心ゆくまで遊びに没頭するような環境構成を